

ミヤマガンピ

Wikstroemia albiflora

ジンチョウゲ科

カテゴリー

大分県 準

環境庁 掲載なし

種
子
植
物



低山地や山地の稜線沿いの岩角地に生える高さ1 mほどの落葉低木。樹皮は強靱でなかなか切れない。対生の葉は全縁の卵形で長さ2.5cmほどで、先が円くてとがらない。花期は6～7月、枝先に浅く4裂した筒状の長さ1 cmほどの白い花をつける。ソハヤキ要素の植物で、本県では西部や南部に点在し、個体数は少ない。自然災害による崩壊や植生遷移などで、生育地の衰退や消滅が懸念される。

(写真・文：阿孫久見)

県内分布 英彦山・犬ヶ岳山地，津江山地，祖母・傾山地，北川上流域

分布域 本州（紀伊半島），四国，九州（大分・宮崎）